

高生研 第52回全国大会 2014夏 in つくば



紫峰 筑波山

大会テーマ **18歳を市民に 生徒がことばを持つとき**

会期 2014年8月9日(土)～11日(月)

会場 筑波学院大学

日程

	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
9日 土			全国 フォー ラム	受 付	開 会 行 事		全 体 会 13:00～17:00 (13:30～基調討論)			移 動 ・ 夕 食 ・ 交 流 会 17:30～21:00			
10日 日	受 付	一 般 分 科 会 9:00～12:30		昼 食 12:30～ 13:50		一 般 分 科 会 13:50～17:20				グ ル ー プ 企 画 17:40 ～19:10～			
11日 月	受 付	問 題 別 分 科 会 9:00～12:00		昼 食 12:00 ～ 12:40	高 生 研 総 会 12:40 ～14:10	別 れ の 集 い ←	14:10～14:40						

開会行事 8月9日(土) 13:00～

筑波大や千葉大の南米音楽サークル出身の若いグループの演奏ユニットによる南米のフォルクローレの演奏です。お楽しみに！

全体会 8月9日(土) 13:30～17:00

基調発題・討論

生徒がことばをもつとき～「スクールカースト」を組みかえる～

基調発題 関谷純(岩手) コメント 小玉重夫(東京大学大学院)、酒田孝(青森)

18歳を市民にする学校とは、どのような学校なのだろうか。進学と部活動の成果にむけて突き進む私学で、生徒会長に立候補した生徒Yとそれに応えようとする教師。生徒Yは、生徒総会や生徒会行事、私学助成運動にかかわりながら、公的な場で話すことばを獲得し、政治的主体となっていく。

<2日目昼食時の現地企画>

参加者がゆったりと過ごせる時間と空間を確保します。

- ①八郷の農産物や手作りシロップのかき氷等の販売をします。
- ②アーサー・ビナードとの共著がある写真家の斉藤サダムさんの「福島の写真展」

主催：全国高校生活指導研究協議会
後援：茨城県教育委員会 つくば市教育委員会

一般分科会 8月10日(日)

A午前 9:00~12:30

B午後 13:50~17:20

A + B <午前午後通し>

1. HR 「Sくんと関わりのなかで」

城塚 俊彦(大阪)

小学校時代のいじめや中学時代の非行。様々な人間関係の中で傷ついてきたS君。彼は入学前の宿題作文で過去の辛い体験を語り、高校生活に居場所を求めてきた。入学当初から不器用ながらも人と繋がろうする彼が、日常、体育祭、文化祭などの中でもがき苦しみながら成長していく。その姿と寄り添ってきた1年半の実践を報告する。

2. 学年 「学年主任の苦労とやりがい 3年間を振り返って」

塚本 徹(静岡)

希望して学年主任となり、3年間持ち上がった。さまざまな課題を抱えた生徒への対応や問題行動の指導に追われ、苦労も多かった。3年次の事件では、学年のキーパーソンである生徒が進路変更。その時、周りの生徒がとった行動とは。学年集団づくりにささやかに取り組み、学年主任のやりがいを感じられるようになった実践を、参加者の皆さんで分析してほしい。

A <午前のみ>

3. HR 「HR初任研 ～はじめての学級担任～」

伊藤 葉子(秋田)

教師2年目、初めての担任。右も左も分からないからこそ、とにかく生徒と一緒に楽しみ、学んでいこうと臨んだ学級づくり。絶対に36名全員で進級しようと心に決めたが、生きづらさを抱えた生徒の思いを受け止めきれず、何をすれば生徒のためになるのか悩む日々。HR担任としての初任研、1年後生徒たちは何を思ってくれるのでしょうか。

4. 学年 「細腕学年主任奮闘記 season I～II」

照屋 淳(沖縄)

赴任二年目で二学年主任へ。最初の行事は遠足で、自分なりに精一杯企画したつもりが空まわり？その後はインターンシップ・修学旅行となんとか一年目をこなしseason Iが終了。翌年、再び二学年主任になり、そのまま持ち上がりで三学年主任へ。前年の反省を踏まえ、生徒たちに寄り添った卒業までの二年間season IIはどうなる？

5. 授業 「判断を揺らし、認識の変容を促す授業」

森 俊二(埼玉)

3年「現代社会」の授業。1年間、「尊厳死法」「貧困は自己責任か」「死刑制度の是非」などのテーマで対話・討論・ディベートを通し、差異を生かし生徒を「市民」に遇することを目指す授業。生徒たちは討論の中で自分の意見が変わっていくことを自覚する。また、相手の意見を聞くことがすばらしいことであり、自分と違った意見があることが大事だと自覚していく。

B <午後のみ>

6. 授業 「物理で白熱?!—学習集団の指導と授業実践—」

松本 源太郎(群馬)

班を用いた授業に取り組み、学習集団の指導を試みている。2年生の物理授業を1時間分、ビデオで録画した。その取り組みの様子を分科会で発表する予定である。それは一斉授業には見られない白熱したものとなった。学習のための集団とは何であるのか、その発展過程を考えてみたい。

7. 授業 「国語で扱う原発授業～授業の枠組みを考える」

札埜 和男(京都)

2012年「現代文」(3年生2クラス)で「エネルギー対策としての原子力」を取り上げ、賛成の立場と反対の立場の講師(運動家・電力会社)を招いて授業を実施した。卒業試験では、原子力発電の是非を問う小論文を出し、最後の授業ではパネルディスカッションを実施した。結果的に原発賛成に傾いた生徒が続出した。賛成派・反対派のゲストを呼ぶ形での枠組みを問い考えたい。

問題別分科会 8月11日(月) 9:00~12:00

1. 「ことばを手にする」授業を作る～憲法をテキストとして～

伊藤 香織(沖縄)、岡野 八代(同志社大学大学院)

なぜ、国語の授業では、普段使うことのない難解なことばを学ぶのか。「難解なことば」で綴られているものの代表・憲法を読み解く作業を通して、「難解なことば」と対峙する意味を見つめた授業実践。政治学者・岡野八代の視点からの分析を交えながら、憲法を読み解く意義を探ります。

2. 青年期の社会的自立のプロセスから高校教育を問い直す 井上 大樹(北海道文教大学)

1990年代以降、学校からの社会への移行プロセスの多様化がすすみ、周辺化し浮遊する若者を多くうみだしてきました。一方で、移行プロセスの調査も注目を集め青年期教育そのものを問い直す重要な提言が出されている。これらの議論を踏まえ高校教育の問い直しを試みます。

3. クラスに溶け込めるようになるための方法あれこれ 久田 晴生(愛知・大同大学)

もっと早く生徒たちがクラスに溶け込めたらHR運営もスムーズにいくのに…、そんなお悩みを持つ先生に答えられるような席替え、自己紹介、体を使ったゲームを考えました。皆さんにそれを体験してもらって、また皆さんの経験を持ち寄って、どんなことができるか一緒に考えましょう。

4. 福島の問題からコミュニケーションを考える 内田 理(埼玉)、森田 省一(福島)

福島原発事故から、3年が経ちました。これまで福島の人たちがどのような扱いを受けてきたかの分析から、支配のためのメッセージとまっとうなコミュニケーションについて、参加者とともに考える分科会をつくります。

5. 特別支援教育と学校変革

小川 京子、絹村 俊明(静岡)

すべての学校で「特別支援教育」が始まって6年。特別な支援を必要とする生徒たちの生きづらさを和らげることは、「通路」としての学校を問い直すことでもあります。本分科会では、具体的な実践を読み解きながら「特別支援教育」が学校変革へとつながっていく希望を紡ぎ出します。

交流会

8月 9日(土) 17:30~21:00 (開始終了時間は企画によって異なります)(当日案内)

1. 基調を深める つくばスタイルのレストラン
2. 発達障害の若者の就労支援活動 カフェ・ベルガ
3. 太鼓集団「響」と太鼓を楽しむ
この他にも計画中

グループ企画

8月10日(日) 17:40~ (開始終了時間は企画によって異なります)

全国高生研を運営する機関誌、通信、大会、理論研究の4グループが主催して、日頃の教育に関わること、教育運動に関わることなどについて、自由に交流する場を新設しました。

参加案内

参加費 全日程参加 5,000 円、2 日参加 4,000 円、1 日参加 2,000 円

学生 1,000 円 (ただし大会実行委員として参加した場合は無料)

申込方法 別紙「大会参加申込書」にてお願いします。Eメールでの申し込みをお願いします。

Eメールアドレス：tsukuba14kou@yahoo.co.jp

(申込書は「応援ブログ」からダウンロード可能。申込メールが送信できるフォームもあります。)

※ 当日申し込みもできますが、出来る限り事前に申し込んでください。

保育 実施する予定です。保育を希望する方は、7月20日までに参加申込にその旨を記入して下さい。

宿泊 各自で予約してください。

※「ホテル/マークワンつくば」(029-875-7272 www.mark-1.jp) (つくばエクスプレス「研究学園駅」下車徒歩3分) を50名分確保してあります。同ホテルに宿泊を希望される方は、7月31日までに「高生研の〇〇(←ご自身のお名前)」と言って申し込んでください。宿泊費は1泊7020円、朝食500円です。

<高生研大会会場周辺アクセス> つくばエクスプレスが一番便利!

筑波学院大学 〒305-0031 茨城県つくば市吾妻3丁目1

秋葉原駅から45分

つくば駅下車 A2出口 徒歩7分



<高生研の案内・問い合わせはこちら>

○高生研ホームページ <http://kouseiken.jp>

○高生研の紹介・大会案内を掲載つくば大会 応援ブログ <http://kouseiken.jp/Taikai/>

「つくばにいぐべ-高生研2014 つくば大会応援ブログ-」

問い合わせ先

大会実行委員長 久田晴生 (大同大学) e-mail: hello.hisada@nifty.com

〒455-0075 名古屋市港区正徳町 4-62

